

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！

**夏のボーナスアップの影響！？ 夏休みに使うお金は2年連続増加し「84,891円」！
話題のスポットが目白押し！？「国内旅行」が「帰省」を上回る！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

○今年の夏休み（詳細は4～14ページ参照）

■夏のボーナスアップの影響！？

夏休みに使うお金は2年連続増加し「84,891円」に！

■今年の夏も「国内旅行」が人気！2年連続で「国内旅行」が「帰省」を上回る！

■夏休みの平均日数は「9.1日」！

最長は「東海地方」の10.7日、最短は「甲信越・北陸地方」の5.9日！

夏休みの過ごし方も地域ごとに特徴が！！

- 夏休み、本当はもっと欲しい！？ 今年の夏休みは「9.1日」となるも、理想の日数は約2週間！（4ページ）
- 夏休みの日数、地方間格差最大4.8日！？（5ページ）
- 話題のスポットが目白押し！？ 「国内旅行」が人気！（6ページ）
- 地域別にみた夏休みの過ごし方、自宅でのんびりリフレッシュする「東海地方」、国内旅行好きの多い「関東地方」、故郷を愛する「中国・四国地方」（7ページ）
- 夏のボーナスアップの影響！？ 消費増税の影響はほとんど無し！？
夏休みに使うお金は「84,891円」と2年連続して増加！（10ページ）

○帰省の交通手段と費用（詳細は15～16ページ参照）

■高速道路料金の割引縮小とガソリン価格高騰がダブルで影響！？

高速道路を利用した「自動車」での帰省が大幅に減少！

■「飛行機」利用者の4人にひとり「LCC」を利用！

- 「自動車」での帰省が減少！ガソリン価格高騰等の影響！？「飛行機」利用者のうち「LCC」利用者は25%超！（15ページ）
- 帰省交通費は当項目調査開始以降2番目の高さ！おみやげ代は5年連続で減少！（16ページ）

【番外編】

○「夏」でイメージする有名人とその理由（詳細は17ページ参照）

■夏でイメージする有名人 1位はサザンオールスターズの「桑田佳祐」さん、2位はTUBEの「前田亘輝」さん！3位は「松崎しげる」さん、4位は「松岡修造」さん！

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2014年7月2日(水)～7月7日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,117人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	140	134	140	144	558
女性	134	144	144	137	559
計	274	278	284	281	1,117

【目次】

1. 今年の夏休み

(1) 夏休みの日数の理想と現実	4 ページ
(2) 地方別にみた夏休みの日数	5 ページ
(3) 夏休みの過ごし方と理由	6 ページ
(4) 地方別にみた夏休みの過ごし方と理由	7 ページ
(5) 夏休みに費やす金額	10 ページ
(6) 旅行の行き先	12 ページ
(7) 冷房の設定温度	14 ページ

2. 帰省の交通手段と費用

(1) 帰省の交通手段	15 ページ
(2) 帰省に費やすお金	16 ページ

【番外編】

<u>「夏」でイメージする有名人とその理由</u>	17 ページ
---------------------------	-------	--------

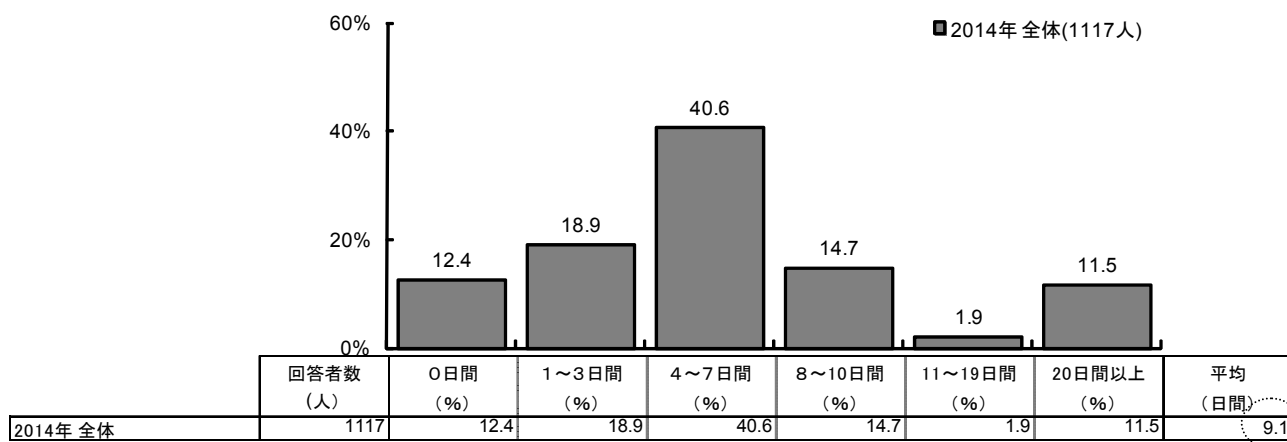
1. 今年の夏休み

(1) 夏休みの日数の理想と現実

夏休み、本当はもっと欲しい!?
今年の夏休みは「9.1日」となるも、理想の日数は約2週間!

- 夏休みの日数について聞いてみたところ、「9.1日」となり、2011年・2012年の「9.5日」に次ぐ長さとなりました。
- また、理想の夏休みの日数について聞いてみたところ、全体平均では「13.1日」となりました。現実の日数とは約4日間の差があり、もう少し長い夏休みがほしいという人が多いようです。

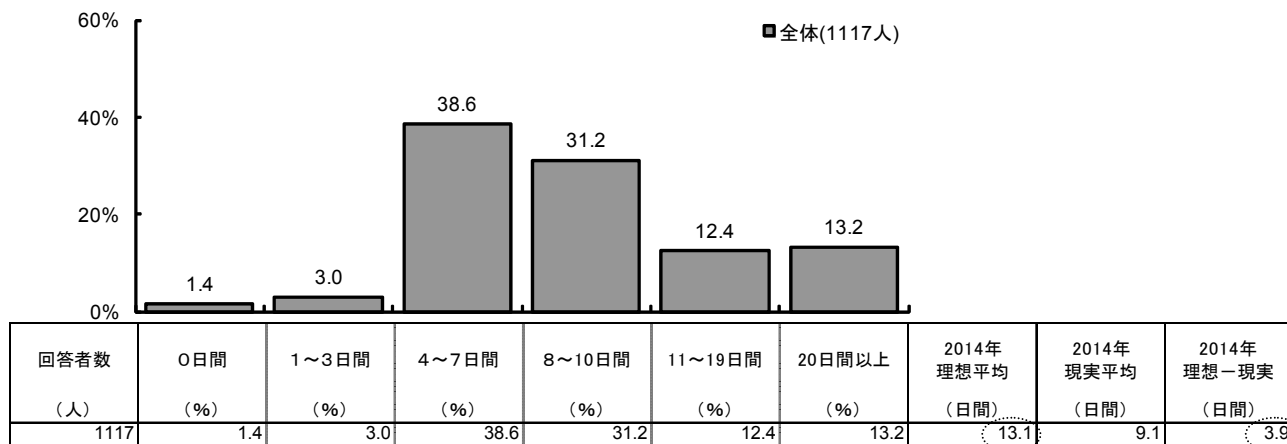
Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）



<参考> 夏休みの日数の過去の推移

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
平均日数(日)	9.1	8.8	9.5	9.5	8.1	7.7	6.5	7.9	6.3

Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）



1. 今年の夏休み

(2) 地方別にみた夏休みの日数

**夏休みの日数、地方間格差最大4.8日！？
最長は「東海地方」の10.7日、最短は「甲信越・北陸地方」の5.9日！**

- ・ 夏休みの日数について、地方別にみてみました。
- ・ 10日以上のお休みを取得する人が多いのは、最長の「東海地方」が10.7日、次いで「近畿地方」が10.5日、さらに「関東地方」が10.0日となっております。
- ・ 一方、最短は「甲信越・北陸地方」が5.9日、次いで「九州・沖縄地方」が6.5日となり、最長の「東海地方」と、最短の「甲信越・北陸地方」との間には4.8日もの日数の差がありました。
- ・ 10日以上のお休みを取得する「関東地方」・「東海地方」・「近畿地方」は、「夏休みに費やす金額（10ページ参照）」もトップ3に該当しており、三大都市圏と地方との景気回復の波及度合いの差が、夏休みの取得日数にも影響しているのかもしれない。

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）

	2014年(日)	
東海	10.7	↑ 4.8日の差
近畿	10.5	
関東	10.0	↑ 3.0日の差
東北	7.0	
北海道	6.9	↓
中国・四国	6.7	
九州・沖縄	6.5	
甲信越・北陸	5.9	

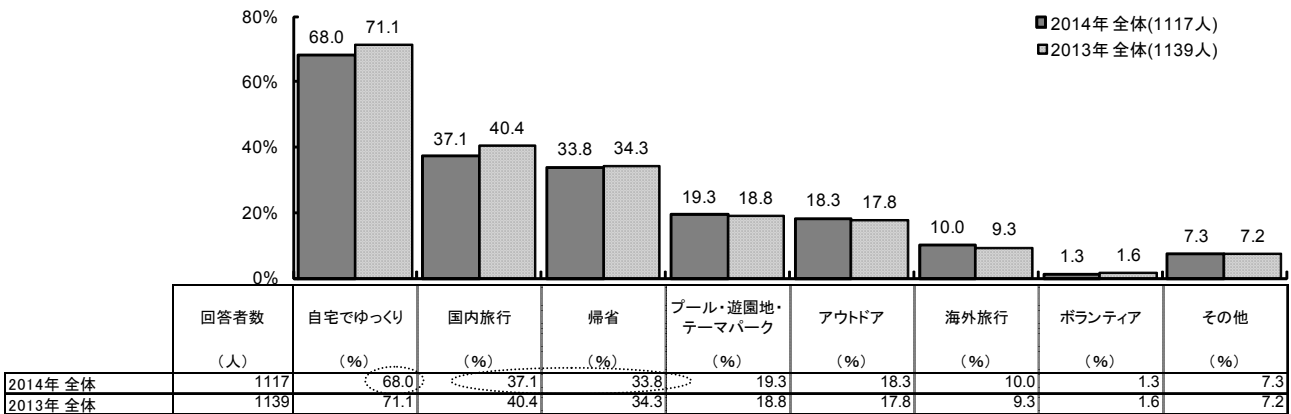
1. 今年の夏休み

(3) 夏休みの過ごし方と理由

**話題のスポットが目白押し!? 「国内旅行」が人気!
「自宅でゆっくり」は9年連続でトップ**

- 夏休みの過ごし方について聞いてみたところ、トップは「自宅でゆっくり」(68.0%)、2位が「国内旅行」(37.1%)、3位が「帰省」(33.8%)となりました。
- 「自宅でゆっくり」(68.0%)は、トップであるものの、昨年から3.1ポイント減少しました。「自宅でゆっくり」する理由のトップは昨年同様、過半数の人が「疲れをとりたい」(53.6%)、2位は「出費がかさむので」(47.1%)でした。
- 「国内旅行」(37.1%)は、2年連続で「帰省」(33.8%)を上回り2位となりました。昨年の富士山に続き、富岡製糸場が世界遺産に登録されたことや、有名テーマパークに新たな目玉施設が登場したことなどが、国内旅行人気につながっているのでしょうか。

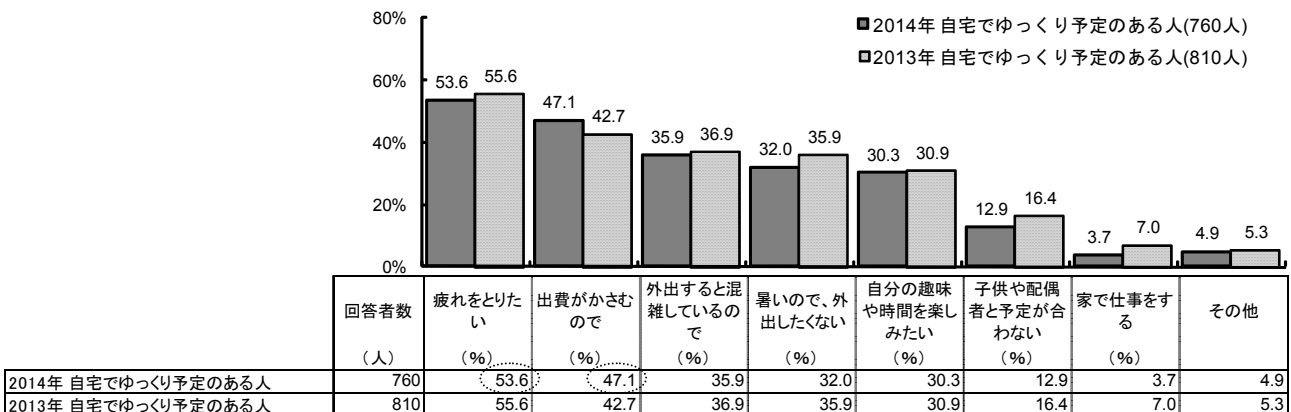
Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください(複数回答)



国内旅行が2年連続で帰省を上回る

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
自宅でゆっくり(%)	68.0	71.1	61.9	59.2	61.8	66.2	73.5
国内旅行(%)	37.1	40.4	37.4	38.6	37.7	35.8	37.6
帰省(%)	33.8	34.3	39.4	40.2	38.2	39.8	27.1

Q. 夏休みを自宅で過ごす理由を教えてください(複数回答)



1. 今年の夏休み

(4) 地方別にみた夏休みの過ごし方と理由

自宅でのんびりリフレッシュする「東海地方」、国内旅行好きの多い「関東地方」、故郷を愛する「中国・四国地方」

- 夏休みの過ごし方について、トップ3の「自宅でゆっくり」「国内旅行」「帰省」の各項目を地方別にみてみました。
- 「自宅でゆっくり」は、トップの「東海地方」が77.6%と全国平均を9.6ポイント上回り、「関東地方」が59.8%と最も低くなりました。「東海地方」の人が「自宅でゆっくり」を選んだ理由としては、「外出すると混雑しているの」（40.6%）や「子どもや配偶者と予定が合わない」（15.6%）がそれぞれ全国平均より高くなっており、主な要因となっているようです。
- 「国内旅行」は、トップの「関東地方」が42.5%と全国平均を5.4ポイント上回り、「東北地方」が26.5%と最も低くなりました。「関東地方」の人が「国内旅行」を選んだ理由としては、「自然を求めて」（32.9%）が全国平均より7.3ポイント上回り全地域でトップとなっています。
- 「帰省」は、「中国・四国地方」が52.7%と全国平均を18.9ポイント大きく上回る一方、「北海道地方」が22.1%と最も低くなりました。「中国・四国地方」の人が「帰省」を選んだ理由としては、「実家でゆっくりくつろぐ」（43.6%）が全国平均より12.3ポイント高くなっています。「中国・四国地方」では、自宅や旅先よりも、実家が一番ゆっくりくつろげると感じる人が多いのかもしれない。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください（複数回答）

自宅でゆっくり

	2014年(%)
東海	77.6
東北	75.5
近畿	73.5
中国・四国	70.3
九州・沖縄	70.2
甲信越・北陸	67.9
北海道	63.6
関東	59.8
全国平均	68.0

国内旅行

	2014年(%)
関東	42.5
甲信越・北陸	39.6
近畿	37.4
九州・沖縄	34.0
東海	33.9
中国・四国	31.1
北海道	29.9
東北	26.5
全国平均	37.1

帰省

	2014年(%)
中国・四国	52.7
九州・沖縄	36.2
関東	34.5
東海	32.7
甲信越・北陸	32.1
近畿	31.1
東北	30.6
北海道	22.1
全国平均	33.8

Q. 夏休みを自宅で過ごす理由を教えてください（複数回答）

	回答者数 (人)	疲れを とりたい (%)	出費が かさむので (%)	外出すると 混雑している ので (%)	暑いので、 外出したく ない (%)	自分の趣味 や時間を 楽しみたい (%)	子どもや 配偶者と 予定が 合わない (%)	家で仕事を する (%)	その他
全国	760	53.6	47.1	35.9	32.0	30.3	12.9	3.7	4.9
東海	128	48.4	37.5	40.6	33.6	25.0	15.6	4.7	7.0
関東	231	54.5	49.8	35.9	35.1	32.0	13.0	3.0	3.9

Q. 国内旅行の主な目的は何ですか（複数回答）

	回答者数 (人)	自然を求めて (%)	温泉での休養 (%)	遊園地や 動物園、 テーマパークなど (%)	都市の観光 (%)	旅先での料理 (%)	史跡や文化財な どの鑑賞 (%)	イベント (お祭りなど) (%)	スポーツ・アク ティビティー(大 会など) (%)	気候 (避暑など) (%)	その他 (%)
全体	414	25.6	19.3	14.0	12.8	7.2	6.5	3.6	3.4	3.1	4.3
関東	164	32.9	20.1	7.9	9.1	4.3	7.3	5.5	3.7	3.7	5.5
東北	13	15.4	15.4	30.8	30.8	-	-	-	7.7	-	-

Q. 帰省の目的・理由を教えてください（複数回答）

	回答者数 (人)	両親・兄弟に 会うため (%)	墓参り (%)	実家でゆっくり くつろぐ (%)	旅行を兼ねて (%)	幼馴染や知人と 会うため (%)	実家にいると お金を遣わない (%)	お小遣いが もらえる (%)	その他 (%)
全体	377	87.3	46.2	31.3	19.6	15.4	11.7	2.1	3.7
中国・四国	39	79.5	43.6	43.6	12.8	12.8	10.3	2.6	5.1
北海道	17	94.1	70.6	11.8	17.6	5.9	-	-	5.9

【参考】夏休みの過ごし方 地域ごとの傾向

	回答者数 (人)	自宅でゆっくり (%)	国内旅行 (%)	帰省 (%)	プール・遊園地・ テーマパーク (%)	アウトドア (%)	海外旅行 (%)	その他 (%)
2014年 全体	1117	68.0	37.1	33.8	19.3	18.3	10.0	7.3
北海道	77	63.6	29.9	22.1	9.1	23.4	6.5	10.4
東北	49	75.5	26.5	30.6	20.4	22.4	2.0	12.2
関東	386	59.8	42.5	34.5	19.4	18.7	15.3	6.5
甲信越・北陸	53	67.9	39.6	32.1	20.8	17.0	9.4	1.9
東海	165	77.6	33.9	32.7	20.6	15.2	9.1	7.9
近畿	219	73.5	37.4	31.1	20.5	20.1	8.2	5.9
中国・四国	74	70.3	31.1	52.7	27.0	14.9	6.8	6.8
九州・沖縄	94	70.2	34.0	36.2	14.9	14.9	4.3	10.6

※それぞれの過ごし方のうち、最大値を白抜き、最小値を網かけ表示

【北海道地方】

・「アウトドア」（23.4%）が地方別で最も高くなっています。山や川などの豊かな自然が多く、そこでリフレッシュしたいと思う人が多いのかもしれませんが、自然を存分に楽しむ夏休みの過ごし方も素敵ですね。

【東北地方】

・「北海道地方」に次いで「アウトドア」（22.4%）と回答された割合が高くなっています。また、「自宅でゆっくり」（75.5%）も地方別で2位となっており、自然を満喫しつつ、自宅でゆっくりする時間も大切にするとといった過ごし方が多いようです。

【関東地方】

・「国内旅行」（42.5%）が地方別でトップとなっています。また、「海外旅行」（15.3%）も地方別でトップとなっており、「関東地方」に在住の人は旅行好きと言えます。

【甲信越・北陸地方】

- ・「国内旅行」(39.6%)が「関東地方」に次ぎ地方別で2位となっています。「海外旅行」(9.4%)と「プール・遊園地・テーマパーク」(20.8%)もそれぞれ2位となっており、さまざまな場所に足を運び、アクティブに過ごされる人が多いようです。

【東海地方】

- ・「自宅でゆっくり」(77.6%)が地方別でトップとなっています。夏休みを自宅でゆっくりと過ごして鋭気を養い、休み明けの仕事の効率アップ等につなげているのかもしれない。

【近畿地方】

- ・「自宅でゆっくり」(73.5%)、「国内旅行」(37.4%)、「アウトドア」(20.1%)がそれぞれ地方別で3番目の高さとなっています。その他の項目も全国平均に近い値となっており、それぞれの過ごし方で夏休みを満喫されていると言えるのかもしれません。

【中国・四国地方】

- ・「帰省」(52.7%)が地方別でダントツとなっています。また、「プール・遊園地・テーマパーク」(27.0%)も地方別でトップです。帰省先のプール・遊園地・テーマパークに足を運ぶという人が多いのかもしれません。

【九州・沖縄地方】

- ・「帰省」(36.2%)が「中国・四国地方」に次いで地方別で2位となっています。故郷で過ごす夏休みも、心身ともにリフレッシュができてよいですね。

1. 今年の夏休み

(5) 夏休みに費やす金額

夏のボーナスアップも影響！？ 夏休みに使うお金は「84,891円」と2年連続の増加！

- 夏休みに費やす金額について聞いてみたところ、全体の平均は「84,891円」と、昨年から1,269円増加し、2年連続で増加となりました。
- 夏のボーナスについて聞いてみたところ、「増えた」(17.3%)が昨年より3.7ポイント上昇し、逆に「減った」(12.1%)が7.6ポイント減少しています。夏のボーナスの増加が夏休みに費やす金額の増加の一因と言えるのかもしれませんが。
- また、消費増税が夏休みのプランへ及ぼす影響について聞いてみたところ、「影響していない」(42.6%)が、「影響した」(20.9%)を大きく上回る結果となりました。夏休みに使うお金が増えていることから、消費増税が夏休みのプランへ及ぼす影響が限定的であることが伺えます。
- 家族構成別では、「既婚子どもなし」世帯が「100,087円」と昨年から28,406円大幅に増加しました。

Q. 夏休みに使うお金はいくらですか

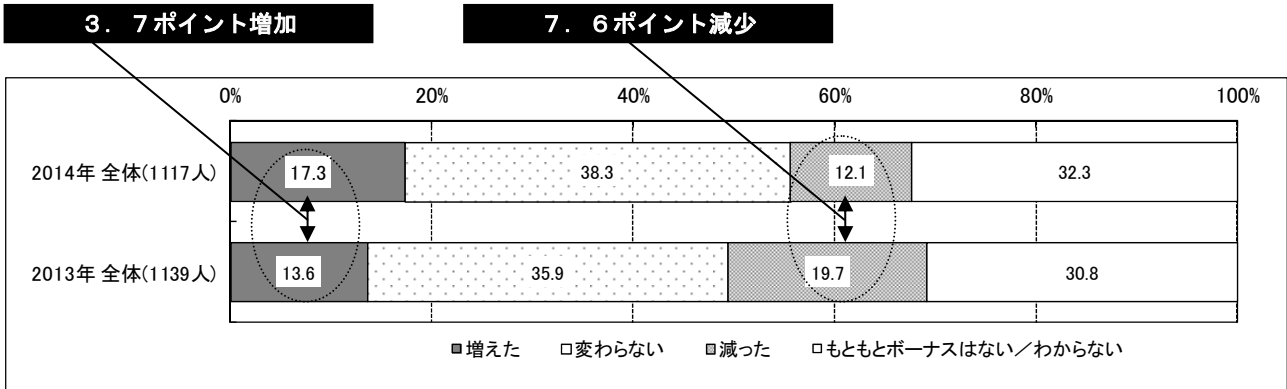
2年連続の増加！

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
全体	84,891	83,622	82,974	84,848	86,159	84,736	76,955
未婚計	75,836	64,339	68,583	77,223	79,163	71,594	59,601
既婚計	88,671	91,488	88,651	87,818	88,098	89,990	87,620
既婚子どもなし	100,087	71,681	100,191	73,250	78,774	73,979	82,296
既婚子どもあり	86,955	94,092	86,800	90,115	89,442	91,896	88,962

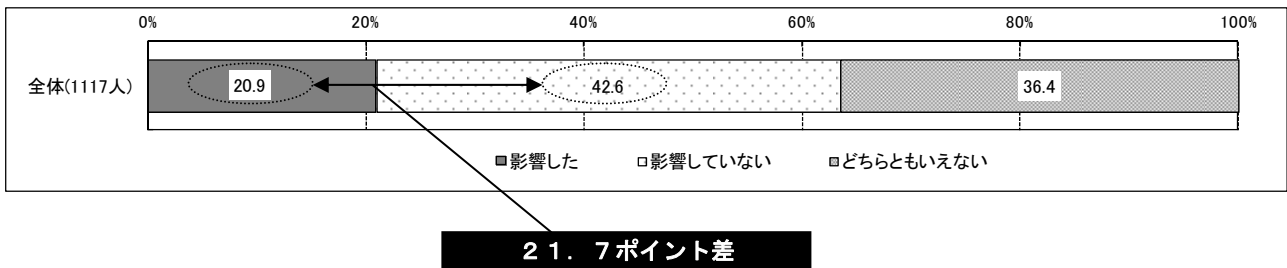
<地方別>夏休みに費やす金額

	2014年(円)
関東	98,199
近畿	92,511
東海	88,061
甲信越・北陸	86,226
中国・四国	68,919
北海道	61,130
九州・沖縄	58,947
東北	45,102
全国平均	84,891

Q. 昨年と比べて世帯の夏のボーナスは増えましたか



Q. 消費増税は夏休みのプランに影響しましたか

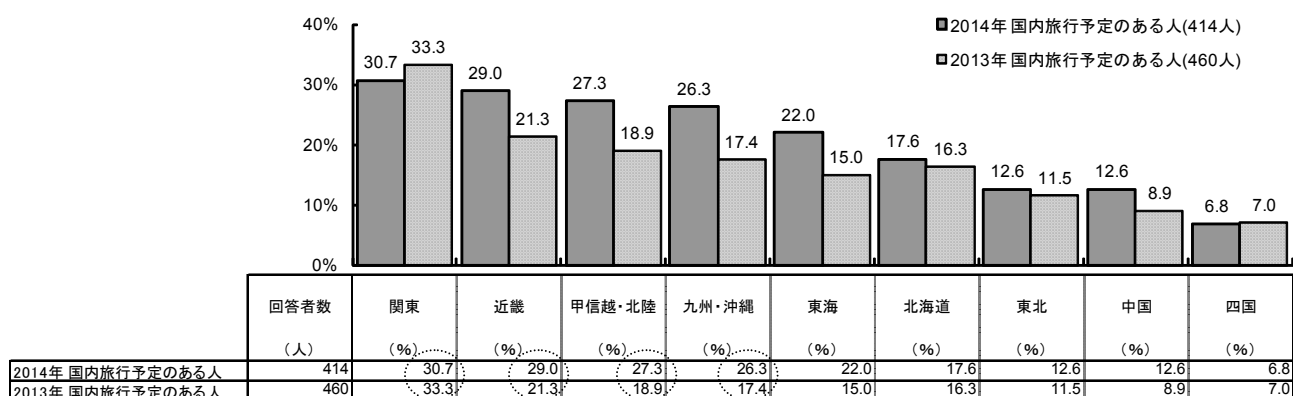


1. 今年の夏休み
 (6) 旅行の行き先

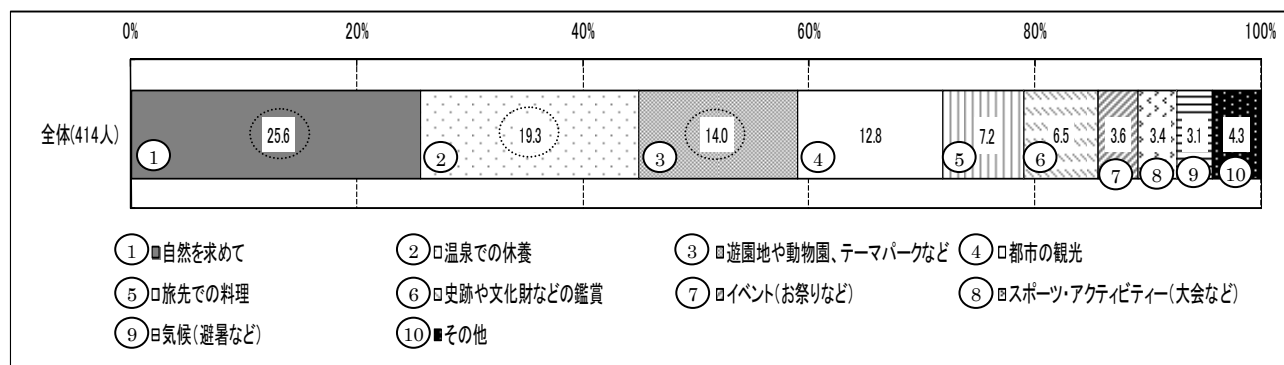
「国内旅行」の行き先は分散化傾向！？「海外旅行」は「アジア」が人気！

- 夏休みの過ごし方で「国内旅行」・「海外旅行」と回答した人に行き先を聞いてみました。
- 「国内旅行」の行き先トップは、昨年に引き続き「関東地方」(30.7%)となっており、2位の「近畿地方」(29.0%)が昨年から7.7ポイント、3位の「甲信越・北陸地方」(27.3%)が8.4ポイント、4位の「九州・沖縄地方」(26.3%)が8.9ポイントとそれぞれ増加しており、「国内旅行」の行き先は分散化傾向にあるようです。
- 国内旅行の目的について聞いてみたところ、トップが「自然を求めて」(25.6%)、2位が「温泉での休養」(19.3%)、3位が「遊園地や動物園、テーマパークなど」(14.0%)となり、その土地にしかない自然や温泉、目玉の新施設で盛り上がるテーマパークなどが、分散化の一因となっていると言えそうです。
- 「海外旅行」では、「アジア」(64.3%)が最多となり、次いで「ヨーロッパ」(31.3%)、3位に「北アメリカ」(14.3%)となりました。

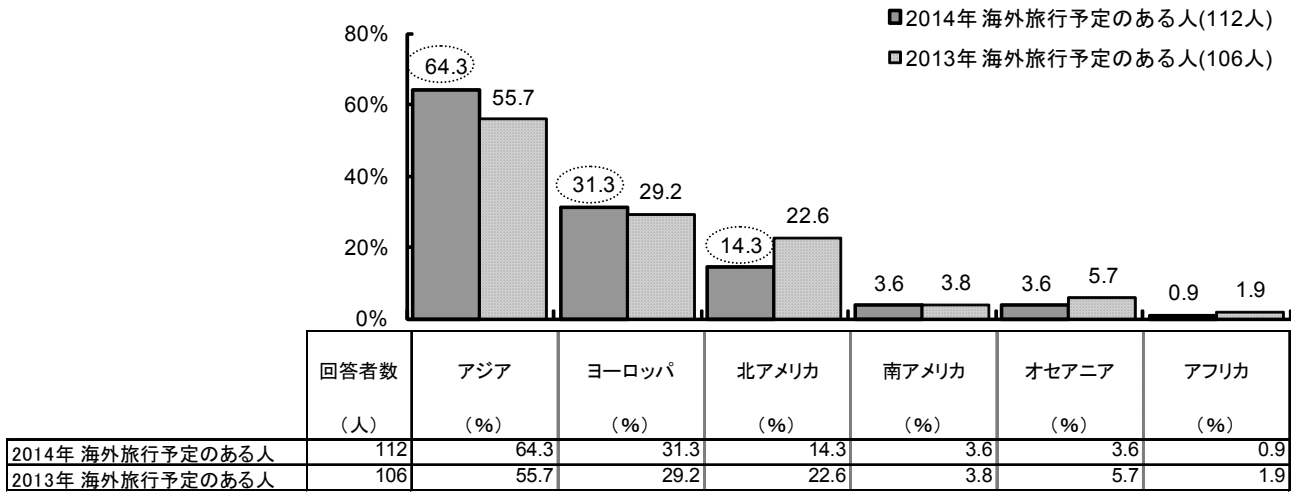
Q. 国内旅行はどの地域に行きますか (複数回答)



Q. 国内旅行の主な目的は何ですか (複数回答)



Q. 海外旅行はどの地域に行きますか（複数回答）



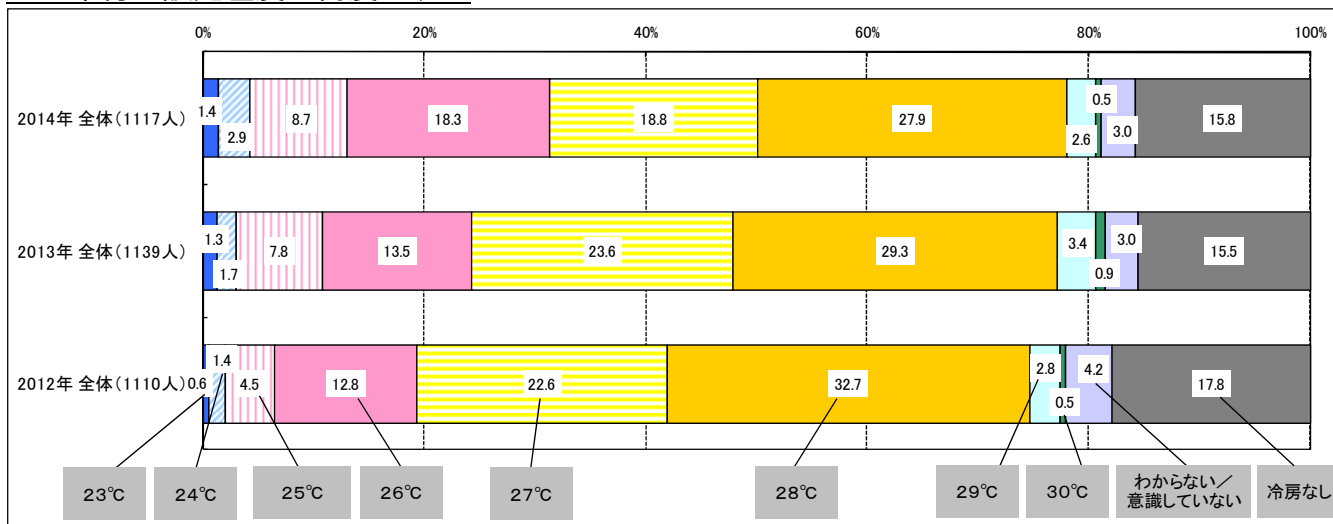
1. 今年の夏休み

(7) 冷房の設定温度

節電意識が後退！？ 設定温度は3年連続低下の「26.8℃」

- ・ 恒例の冷房の設定温度について聞いてみました。
- ・ 今年は昨年より0.2℃低い「26.8℃」と3年連続で低下し、東日本大震災以前の2010年以来、4年ぶりに27.0℃を下回りました。
- ・ 節電に取り組むかどうかについても聞いてみたところ、「取り組む」(74.5%)は昨年より4.0ポイント減少しており、2年連続の減少となりました。
- ・ 節電に対する意識の変化から節電への取組みが後退していくかもしれません。節電の定着に向けた働きかけがいつそう求められるのではないのでしょうか。

Q. 冷房の設定温度は何度ですか



	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
全体	26.8℃	27.0℃	27.1℃	27.5℃	26.5℃	26.6℃	26.8℃

Q. 今年の夏は節電に取り組めますか

	2014年	2013年	2012年
取り組む(%)	74.5	78.5	88.6
取り組まない(%)	25.5	21.5	11.4

2. 帰省の交通手段と費用

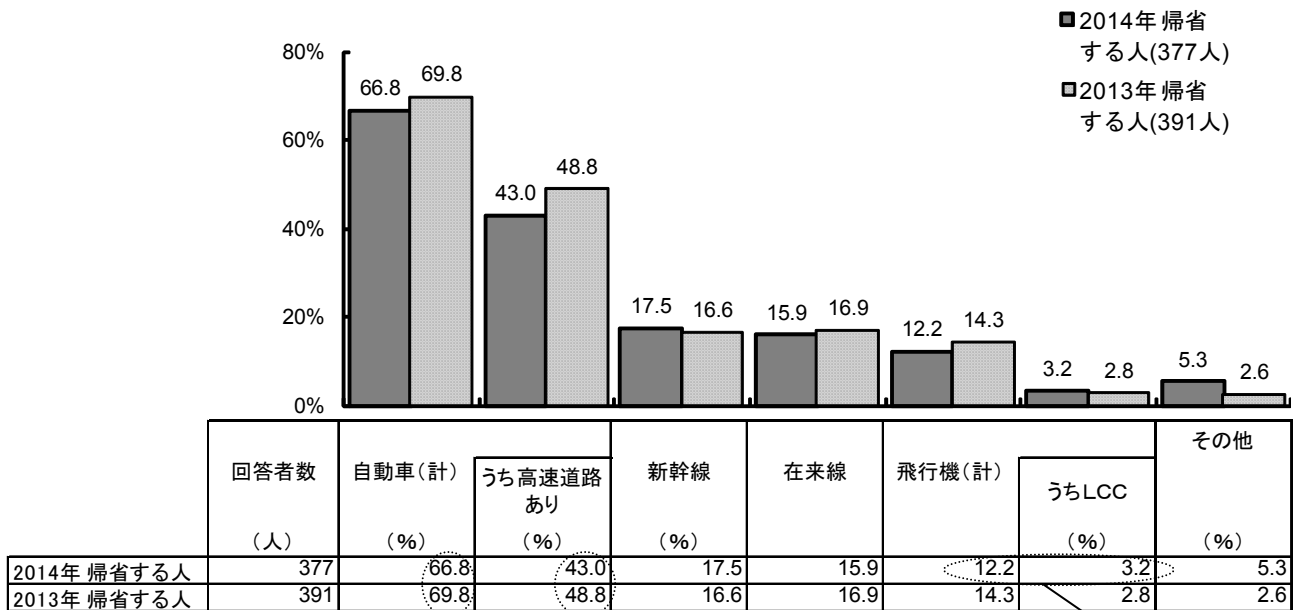
(1) 帰省の交通手段

「自動車」での帰省が減少！ガソリン価格高騰等の影響！？
「飛行機」利用者のうち「LCC」利用者は25%超！

- ・ 帰省する方に、帰省手段について聞いてみました。
- ・ 「自動車」(66.8%)は昨年より3.0ポイント減少し、特に「自動車(高速道路あり)」(43.0%)は昨年より5.8ポイントの大幅減少となりました。ガソリン価格の高騰や高速道路料金の割引制度の縮小などが影響しているのかもしれませんが。
- ・ また、帰省に「飛行機」(12.2%)を使う人のうち、「飛行機(LCC*)」(3.2%)を使用する人は4分の1以上となる26.1%となりました。帰省にLCCを利用する人も多いようです。

※ローコストキャリア(格安航空会社)の略

Q. 帰省手段として、何を使いますか(複数回答)



**飛行機利用者のうちLCC利用者は
26.1%**

2. 帰省の交通手段と費用

(2) 帰省に費やすお金

**帰省交通費は当項目調査開始以降2番目の高さ！
おみやげ代は5年連続で減少！**

- ・ 帰省の際に費やす交通費とおみやげ代を聞いてみました。
- ・ 交通費は「29,743円」（168円減）と、過去最高であった昨年に次いで引き続き高い水準となっています。
- ・ おみやげ代は「9,085円」（266円減）となり、5年連続で減少しました。昨年に引き続き、交通手段にはお金をかけて快適さを求め、その分、おみやげ代を節約するという傾向にあると言えそうです。
- ・ また、未婚者・既婚者で分けると、未婚者では交通費・おみやげ代ともに増加し、既婚者では交通費・おみやげ代ともに減少するという、対照的な結果となりました。

Q. 帰省費用はいくらですか（交通費+おみやげ代）

	平均交通費(円)		平均おみやげ代(円)		平均帰省費用(円)	
		前年差		前年差		前年差
全体	29,743	△168	9,085	△266	38,828	△433
未婚計	22,803	1,290	6,831	908	29,634	2,198
既婚計	31,353	△650	9,608	△597	40,961	△1247

<参考> 帰省費用の過去の推移

2013年に次ぐ高い水準

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年
平均交通費(円)	29,743	29,910	28,508	27,384	26,352	29,286
平均おみやげ代(円)	9,085	9,350	9,487	10,007	10,071	10,211
平均帰省費用(円)	38,828	39,261	37,995	37,391	36,423	39,497

5年連続の減少

【番外編】

「夏」でイメージする有名人とその理由

**トップ2は不動の「桑田佳祐」さん（サザンオールスターズ）と
「前田亘輝」さん（TUBE）！
3位は「松崎しげる」さん、4位には「松岡修造」さんがランクイン！**

- ・ 「夏」でイメージする有名人を聞いてみました
- ・ 「桑田佳祐」さん（サザンオールスターズ）（34.2%）が1位、「前田亘輝」さん（TUBE）（32.2%）が2位で、2人あわせて6割超と圧倒的な結果となりました。3位は「松崎しげる」さん（2.4%）、4位は「松岡修造」さん（1.8%）となりました。
- ・ 女性では唯一「能年玲奈」さん（1.3%）が6位で昨年に引き続きトップ10入り！
- ・ 理由を聞いたところ、「桑田佳祐」さんや「前田亘輝」さんは歌や曲から連想された人が大半でしたが、「日焼けをしている」、「夏にTV等によく見かける」といった声もありました。また、4位の「松岡修造」さんは「熱い人だから」といったイメージを持っている人が多いようです。女性でトップの「能年玲奈」さんは、「爽やかなイメージである」、「テレビドラマでの海のイメージが強い」という声がありました。

Q. 夏といえば思い浮かぶ有名人は誰ですか（敬称略）

順位	名前	回答者数(人)	占率(%)
1 (1)	桑田佳祐(サザンオールスターズ)	382	34.2
2 (2)	前田亘輝(TUBE)	360	32.2
3 (4)	松崎しげる	27	2.4
4 (-)	松岡修造	20	1.8
5 (3)	加山雄三	19	1.7
6 (6)	能年玲奈	15	1.3
7 (8)	福山雅治	14	1.3
8 (5)	北島康介	13	1.2
9 (18)	所ジョージ	11	1.0
10 (10)	山口智允	10	0.9

※()内は昨年の順位

<参考> その有名人を選んだ理由を教えてください（敬称略）

桑田佳祐 (サザンオールスターズ)	・夏の曲を歌っているイメージが強い ・夏によく耳にするから
前田亘輝 (TUBE)	・夏になると曲をよく聞くから ・夏の服装がよく似合うから
松崎しげる	・日焼けしているイメージが強いから ・夏の定番
松岡修造	・熱い人だから ・CMで汗をかいているシーンが印象的だから
加山雄三	・海の歌がよく似合う ・テレビや映画での役柄が夏をイメージさせる
能年玲奈	・爽やかなイメージだから ・海女役のテレビドラマのイメージが強いから